

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第45号	発行日	令和6年9月11日(水)
	発行者	別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

○基礎学力定着に向けた取組について。

第1回学力向上会議(8/28)において、学校運営協議会の大城委員長はじめ委員さんに本校の現状及び課題等について説明をしたところです。

試みとして、小学部では火曜日及び金曜日の清掃時間(13時30分～13時45分)をカットし、生み出した時間で漢字練習や計算問題などに取組みます。

授業の振り返りなども含め、プリントを活用するなどし、反復的(繰り返し)に行うことで、定着状況を計りながら進めます。また保護者の力もお借りするなどし、基礎学力定着に取り組めます。

★★

○運動場の整地にご尽力いただきました。

9月8日(日)工藤明子さん(中学部3年)のお父さんのご厚意により、運動場の整地をしていただきました。炎天下、4時間以上かけて、重機(画像)で表土を削り、真砂土を入れ、整地作業をしていただきました。子どもたちのケガなどを心配され、例年、運動会開催前のこの時期に、お力添えをいただけてきました。今まで本当にありがとうございました。



★★

○「生活排水出張教室」(大分県土木建築部)の開催について。

9月10日(火)3校時 小学部3～6年生を対象に行いました。公園・生活排水課職員が生活排水に関連したクイズや実験など交えながら、自然環境に与える影響など学習しました。

クイズの内容は、家庭の生活排水で最も汚れが多いのは①トイレ②台所③風呂④洗濯のどれ?日本中の下水道管をつなぐと長さは①日本を縦断する距離②地球1周する距離③地球10周する距離のどれ?などです。あわせて下水道や浄化槽の役割、仕組みを理解するとともに、生活排水による河川等の水質汚濁の防止について、楽しく学ぶことができました。